

九州地区の7年3月住宅着工戸数

前年同月比65.3%増の9,649戸、熊本県は119.8%増

国土交通省がまとめた令和7年3月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比65.3%増の9,649戸で、床面積は同61.7%増となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が74.7%増、佐賀県が6.5%増、長崎県が68.3%増、熊本県が119.8%増、大分県が8.4%増、宮崎県が106.9%増、鹿児島県が9.8%増となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年3月、令和6年3月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m ²)		
	令和7年3月	令和6年3月	前年対比(%)	令和7年3月	令和6年3月	前年対比(%)
福岡	4,578	2,621	174.7	349,283	203,334	171.8
佐賀	391	367	106.5	34,842	28,161	123.7
長崎	840	499	168.3	67,963	36,288	187.3
熊本	1,622	738	219.8	112,748	60,739	185.6
大分	592	546	108.4	48,864	39,222	124.6
宮崎	966	467	206.9	70,214	37,316	188.2
鹿児島	660	601	109.8	51,931	50,065	103.7
九州地区計	9,649	5,839	165.3	735,845	455,125	161.7
沖縄	1,155	638	181.0	96,076	50,653	189.7
山口	380	588	64.6	34,893	51,337	68.0
全国計	89,432	64,265	139.2	6,827,129	4,848,429	140.8